

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	専攻実技2（作曲ゼミ）	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間		授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じてハンドアウト配布。学生は指定の五線紙と筆記用具を用意。				
担当教員情報					
担当教員	平下政志・二本柳一明		実務経験の有無・職種	有・音楽家	
学習目的					
調性を有するオリジナルメロディーを作ることを目的とする。 学習の過程でコードおよびハーモニー理論が必要になるので、そちらにも充分な時間を割り当てる。					
到達目標					
まずは「理にかなった無難なメロディー」の習作をトピックごとに重ね、最終的にはオリジナル作品を数曲完成させる。 習ったテクニックがその作品に無意識に反映されている状態を理想とする。い。					
教育方法等					
授業概要	講義→実習→作品提出の繰り返し。最小限を心がけるものの、講義の量はそれなりになるので、学生は時間外の作業時間が必要になる。				
注意点	すべてのクラスとの連動が重要だが、特に月曜日音楽基礎理論および木曜日制作演習との連携を重視し、効率良くテクニックの習得を図る。 授業計画にはマックスのパターンを記載したが、実際には様子を見ながら、必要なトピックには時間をかけるものとする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	60%	作品提出		
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	40%	出席率および受講態度		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	minor key diatonic melody①		グレード11/ 講義のみ		
2回	minor key diatonic melody②		指定された条件下で minor key melody を制作		
3回	minor key diatonic melody③		第17回作品のチェックとブラッシュアップ		
4回	modal interchange melody④		講義のみ		
5回	modal interchange melody⑤		modal interchange を用いた major key melody を作曲		
6回	modal interchange melody⑥		第20回作品のチェックとブラッシュアップ		
7回	secondary dominant (major key)①		グレード17/ 講義のみ		
8回	related II ^m 7		secondary dominant およびその related II ^m 7 を用いて作曲		
9回	secondary dominant (major key)②		第23回作品のチェックとブラッシュアップ		
10回	secondary dominant (minor key)③		secondary dominant およびその related II ^m 7 を用いて minor key melody を作曲		
11回	secondary dominant (minor key)④		第25回作品のチェックとブラッシュアップ		
12回	approach note①		各種 approach note を用いて、melody を制作		
13回	approach note②		第27回作品のチェックとブラッシュアップ 1		
14回	最終課題制作①		第27回作品のチェックとブラッシュアップ 2		
15回	最終課題制作②		第27回作品のチェックとブラッシュアップ 3		